

（1）職業実践専門課程制度の充実について

- 専修学校の特長を引き出す枠組みとしての教育の体系化・可視化や職業教育のマネジメントの視点の検討
- **職業教育を担う説明責任を果たすための適切な情報公開の在り方**
- **第三者による評価を含めた学校評価の在り方の検討**
- 教職員の資質向上など教育の質を支える人材育成

（2）今後の専修学校教育の在り方について

- オンライン教育や授業内容・授業方法の進展に伴う教育の質確保
- 新しい日常など社会構造の変化を見据えた今後の専修学校教育の在り方

前回会議における主な意見からの論点

- 地域課題解決のための地元産業界・企業等、専門学校、高等学校の一層の連携強化の方策の検討
- 専門学校におけるリカレント教育の推進方策等の検討
- 企業等、NPOを含む地域社会、大学等と専門学校との連携・情報共有を含めた社会における専修学校の役割等の検証
- 都道府県等も含めた財政支援をはじめとする専修学校教育の質確保のための改革方策の検討
- 2年未満や4年以上の課程を含めた国際通用性等を意識した質保証における専修学校制度の点検

職業実践専門課程の推薦・公表の在り方の検討（案）

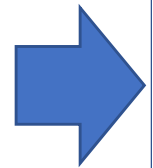
< 課題 >

- ・制度創設後7年が経過し、全ての学科で認定を目指す学校、認定を受けない学校に二極化の傾向（認定課程は、全専門学校約4割弱・2年制以上の全学科約4割。近年、全ての新規認定学科数・学校数に対する新規の学校の比率は横ばい）。
- ・制度の趣旨を踏まえた教育活動の充実を図りつつ、特長を生かしたより質の高い専修学校教育を提供していくことが重要。



【職業実践専門課程の効果的な認定審査・情報公開に資する改善のための見直し例】

- 基本情報
 - ・・・推薦時の確認のしやすさの向上
- 職業実践専門課程の認定要件に関わる企業等連携の取組の情報
 - ・・・様式上の基本情報との区分を明確にし、より効果的な取組の確認方法
- 学校評価にかかる情報
 - ・・・学校関係者評価、第三者評価（任意）にかかる情報提供方法等の確認方法
- その他の情報提供（財務情報等）
 - ・・・情報提供ガイドライン等に基づいた整理の明確化
- 認定学科の情報公開
 - ・・・公開様式（様式4）の方向性についての検討（従来、推薦様式とほぼ同一の様式で公開様式としてきたところ、仮に変更を伴う場合は、公開情報について再検証が必要）
- 添付資料（エビデンス資料）の扱い
 - ・・・学校の負担軽減の観点から、これまで削減してきた添付資料についての再検証



情報の体系化・複層化を指向
〔企業等連携にかかる要素を深く審査等〕

学校関係者評価の運営方法等の改善（案）

学校関係者評価

➡ 職業実践専門課程の認定要件では、企業等の役職員の参画が必要。

学校関係者評価の法令上の位置付けを踏まえつつ、運営方法等の改善について検討

（考えられる検討課題）

- 外部性の一層の確保
 - ・委員の構成
 - ・委員会の運営方法 等
- 評価項目における視点
 - ・ガイドラインや手引などで新たに例示すべき項目の検討
- 第三者評価にかかる記述の整理 等

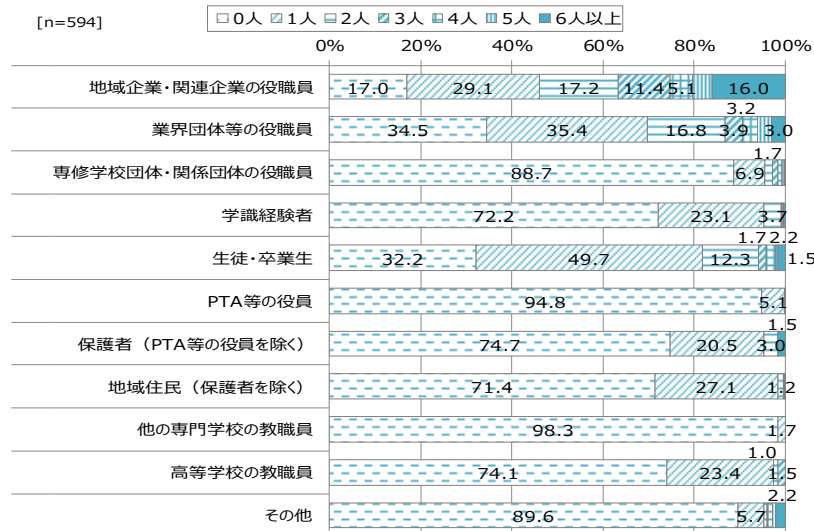


図 評価委員の属性別人数（各数値入力）

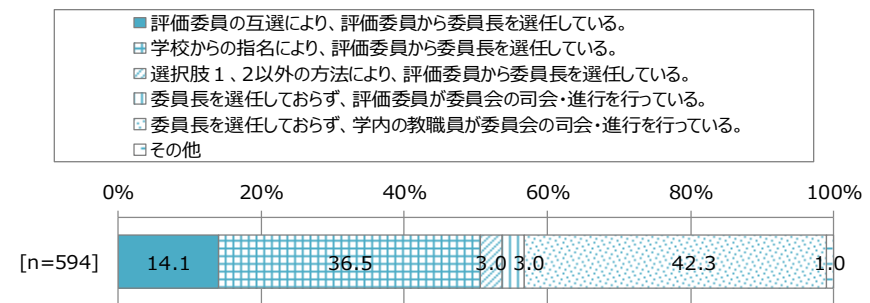


図 評価委員長の選任方法（単数選択）

平成30年度文部科学省委託事業「職業実践専門課程の質保証・向上のための実態調査」